

スのこの號が買つてなかつたので不用の名を出したのは残念である。(北村四郎)

**チワルド氏：双鞭毛藻の有性生殖** (K. DIWALD:—Die geschlechtliche Fortpflanzung von *Glenodinium*, in Flora n. f. Bd. 32, s. s. 174—192, 1938.)

従来双鞭毛藻類 (*Dinoflagellata*) の有性生殖は夜光虫を除きて不明なりしが今回氏は *Glenodinium lubiniensiforme* DIWALD n.sp. に就き普通の二分々裂は勿論遊走孢子形成、休眠孢子形成より配偶子の接合及び接合子の發芽まで仔細に觀察したれば、本類の配偶子の接合は明となれり。(G. KOIDZUMI)

## 雜 報

### *Prunus subhirtella* MIQ

近頃三省堂で出した博物辭典 (1938) p. 683 に *Prunus subhirtella* MIQ. (ヒガンサクラ) としてあるが之は誤である、一たい *Pr. subhirtella* MIQ. とは如何なるものかは和蘭ライデン大學に保存する MIQUEL 氏の原品を検すれば解る、原品は皆 SIEBOLD 氏採品にして、其の内標品番號 905. 83-80; 905. 83-82; 905. 83-83 の三は **チモトヒガンサクラ** (*Prunus Kohigan* KOIDZ.) であつて、905. 83-81; 905. 83-86; 905. 83-85 の三品は **ヒガンサクラ** (*Prunus Itosacra* SIEB.) である、即ち *Pr. subhirtella* MIQ. とはヒガンサクラ、チモトヒガンサクラ兩品の混合物である。(G. KOIDZUMI)

### 侏羅紀被子植物

1937 年 J. B. SIMPSON 氏は Scotland の上部侏羅紀の下部 Bathonian 階の Crora Coal 中より睡蓮科の *Nelumbium*, *Castalia* の花粉を發見せり、同科の花粉は最も特色あるものの一なれば容易に同定するを得たり。

### 金錢槭の化石

金錢槭 (*Dipteronia sinensis* OLIVER) は槭樹科の一屬一種支那に産するも第三紀には廣い分布をしたもので *Dipteronia americana* BROWN と云ふのが北米 Washington 洲 Republic の下部中新世から化石として出る。

### 鐵杉の第三紀分布

鐵杉 (*Keteleeria Davidiana* BEISSN.) は唯一種支那臺灣に産するのみなるが第三紀には中新世に北米 Washington 洲 Spokane に *Keteleeria heterophylloides* (BERRY) BROWN, 歐洲の鮮新世には *K. Loehri* があり、尙 Canada, Alberta の下部白亜に本屬の木材化石らしいものが發見された。